

各関係機関長 様

佐賀県農業技術防除センター所長

シロイチモジヨトウ、オオタバコガの防除対策の徹底について

大豆及びアスパラガスにおいて、一部でシロイチモジヨトウの多発圃場を認めています。また、フェロモントラップにおけるシロイチモジヨトウ及びオオタバコガの誘殺数は、平年を上回って推移しています。今後、野菜・花き類を中心にこれら害虫による被害を生じるおそれがあります。

については、圃場ごとの発生状況を注視するとともに、下記事項を参考に防除対策を徹底するよう生産者への指導をお願いします。

記

1. シロイチモジヨトウ、オオタバコガの発生状況

1) 定期調査（9月14～18日調査）

- (1) 大豆（22圃場）では、シロイチモジヨトウの発生圃場率は45.5%（前年4.5%）、平均寄生株率は3.0%（前年0.1%）であった。オオタバコガの発生圃場率は31.8%（前年0%）、平均寄生株率は0.7%（前年0%）であり、いずれも前年より高かった。
- (2) アスパラガス（8圃場）では、チョウ目害虫の発生圃場率は75.0%（平年11.3%）、平均寄生株率は12.5%（平年1.1%）であり平年より高かった。発生種はシロイチモジヨトウとオオタバコガが主体であった。

2) フェロモントラップ

- (1) シロイチモジヨトウの誘殺数は9月1半旬に増加し、平年より多く推移している（図1）。
- (2) オオタバコガの誘殺数は、9月4半旬以降に増加し、平年より多く推移している（図2）。

3) 気象概況

- (1) 九州北部地方の1か月予報（福岡管区気象台9月24日発表）では、向こう1か月の気温は平年より高いと予想されており、シロイチモジヨトウ、オオタバコガの増殖・活動に好適である。



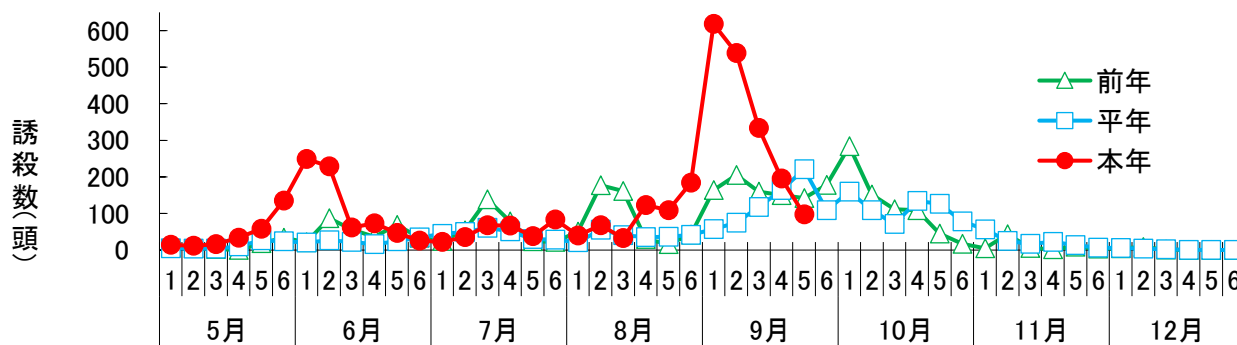


図1 フェロモントラップによるシロイチモジヨトウの半旬別誘殺数
(佐賀市川副町・農業試験研究センター調査)

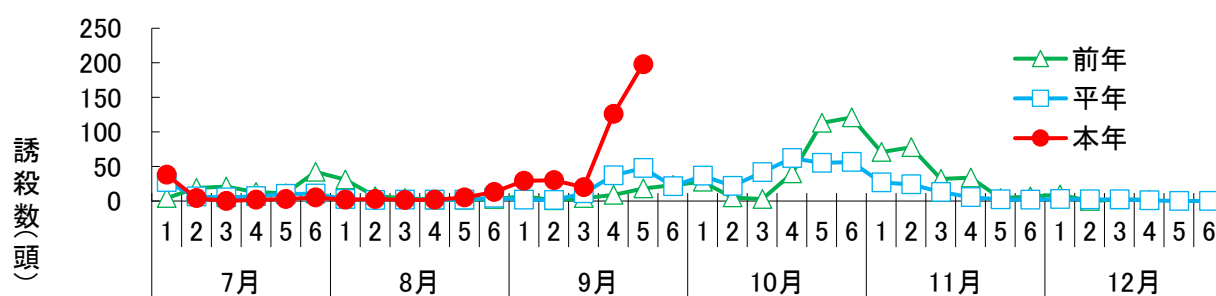


図2 フェロモントラップによるオオタバコガの半旬別誘殺数
(佐賀市川副町・農業試験研究センター調査)

2. 防除対策

- 1) 発生状況は圃場ごとに異なるため、必ず圃場を確認し防除対策を行う。
- 2) 種によって薬剤の効果が異なるため、薬剤の選定には注意し、散布後は効果を確認する。
- 3) 薬剤選定にあたっては、過去に使用した薬剤の防除効果の程度や、薬剤感受性検定の結果（表1，2，3）を参考にする。農薬の使用に当たっては、作物登録の有無を含め、必ず最新の登録内容（希釈倍数等）を確認する。
- 4) 幼虫は、齢が進むと薬剤の効果が低下するため、若齢幼虫期に防除を行う。葉裏や株全体にムラがないように丁寧に散布する。
- 5) 薬剤感受性の低下を防ぐため、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布する。
- 7) シロイチモジヨトウの卵塊や分散前のふ化幼虫は速やかに寄生葉を摘み取り処分する。
- 8) 施設栽培では、開口部に防虫ネット（4ミリ目以下）を設置して成虫の圃場内への侵入を防ぐ。
- 9) 圃場周辺の雑草は増殖源となるため、除草を徹底する。
- 10) 今後の発生状況は当センターが発表する各種情報及びホームページを参考にし、防除対策の詳細は「佐賀県総合防除計画（佐賀県病害虫防除のてびき）」を参照する。

表 1. シロイチモジヨトウに対する各種薬剤の効果（農業技術防除センター 2023年）

IRAC コード	農薬名 (成分名)	希釈倍数	補正死虫率(%)					
			K1個体群			K2個体群		
			1日後	3日後	4日後	1日後	3日後	4日後
28	ベネビアOD (シアントラニリプロール)	2,000倍	27.6	75.9	85.1	24.1	60.6	78.4
30	グレーシア乳剤 (フルキサメタミド)	2,000倍	96.7	100	100	100	100	100
5	ディアナSC (スピネトラム)	2,000倍	93.3	100	100	96.7	96.5	100
UN	プレオフロアブル (ヒリタリル)	1,000倍	0	48.3	62.8	13.3	51.8	62.7

供試虫：佐賀市の大豆圃場から採集した2個体群。採集後、人工飼料で飼育した2世代目の3齢幼虫を供試した。

表 2. シロイチモジヨトウに対する各種薬剤の効果（農業技術防除センター 2018年）

IRAC コード	農薬名 (成分名 濃度)	希釈倍率	補正死虫率(%)			
			D個体群		E個体群	
			1日後	3日後	1日後	3日後
28	プレバソフロアブル5 (クロラントラニリプロール 5%)	4,000倍	0	0	0	5.7
28	フェニックスフロアブル (フルベンシアミド 18%)	2,000倍	0	14.1	0	9.1
UN※1	プレオフロアブル (ヒリタリル 10%)	1,000倍	3.6	75.9	6.9	69.7
3A	トレボン乳剤 (エトフェンプロックス 20%)	1,000倍	0	8	0	2.6
15	ノーモルト乳剤 (テフルベンスロン 5%)	2,000倍	0	15.4 ※2	0	0 ※2
5	スピノエース顆粒水和剤 (スピノサト 25%)	2,500倍	64.3	96.6	100	100
5	ディアナSC (スピネトラム 11.7%)	2,500倍	92.9	100	100	100
13	コテツフロアブル (クロルフェナピル 10%)	2,000倍	46.4	72.5	72.4	83.2
6	アフーム乳剤 (エマメクチン安息香酸塩1.0%)	1,000倍	0	13.3	31.0	33.3

※1 UN：作用機作が不明あるいは不明確な剤

※2 処理5日後の結果

供試虫：佐賀市の大豆圃場から採集した2個体群。

表3. オオタバコガに対する各種薬剤の効果（農業技術防除センター 2018年）

IRAC コード	農薬名 (成分名 濃度)		補正死虫率(%)				
			1日後	3日後	5日後	7日後	
28	プレバソフロアブル5 (クロラントラニプロール 5%)	4,000倍	100	100	100	—	※2
28	フェニックスフロアブル (フルベンジアミド 18%)	2,000倍	91.7	100	100	—	
5	スピノエース顆粒水和剤 (スピノサド 25%)	2,500倍	100	100	100	—	
5	ディアナSC (スピネトラム 11.7%)	2,500倍	100	100	100	—	
13	コテツフロアブル (クロルフェナピル 10%)	2,000倍	100	100	100	—	
6	アフアーム乳剤 (エマメクチン安息香酸塩1.0%)	1,000倍	100	100	100	—	
22B	アクセルフロアブル (メタフルミゾン 25.0%)	1,000倍	91.7	100	100	—	
22A	トルネードエースDF (イントキサカルブ 5.0%)	2,000倍	91.7	95.7	100	—	
UN※1	プレオフロアブル (ピリタリル 10%)	1,000倍	29.2	100	100	—	
3A	トレボン乳剤 (エトフェンプロックス 20%)	1,000倍	25.0	56.5	56.5	—	
15	ノーモルト乳剤 (テフルベンズロン 5%)	2,000倍	0	4.3	8.7	4.5	
15	マツチ乳剤 (ルフェニロン 5.0%)	2,000倍	8.3	60.9	95.7	100	
15	カウンター乳剤 (ノバルロン 8.5%)	2,000倍	4.2	47.8	100	100	

※1 UN: 作用機作が不明あるいは不明確な剤 ※2 未調査
供試虫: 杵島郡白石町のアスパラガス圃場から採集した個体群。

連絡先: 佐賀県農業技術防除センター 病害虫防除部

〒840 - 2205 佐賀市川副町南里 1088

TEL (0952) 45 - 8153 FAX (0952) 45 - 5085

Mail nougyougi.jutsu@pref.saga.lg.jp

ホームページアドレス https://www.pref.saga.lg.jp/ki_ji00321899/index.html

病害虫総合防除計画掲載アドレス https://www.pref.saga.lg.jp/ki_ji003101844/index.html

防除二次元コード



防除計画二次元コード

